

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくエジソンあべの帝塚山教室		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2028年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2028年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースが広くのびのび活動できる	学習、遊び、読書など目的に合わせてスペースを分けているところ	遊び道具や教材も定期的に入れ替え、楽しく過ごせるように工夫を行う
2	プログラムが固定化されないよう工夫をしている	曜日ごとに運動、工作、SSTなど内容を分けている	長期休み中の平日にもイベント行事を取り入れていく
3	職員間で意見交換を行い、業務改善に努めている	週1の会議やチャットワークの活用にて情報共有や伝達漏れを防いでいる	会議に参加できない職員は後日議事録に目を通してもらい、全員で情報共有できるようにする

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない	機会があれば参加したいが、参加する機会が少ない	保育所や認定こども園、幼稚園等は送迎時に先生方とのコミュニケーションを積極的に取っていきたい
2	地域の児童発達支援センターとの連携がない	訪問する機会があまりない	機会があればイベントなどに参加する
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会が少ない	保護者会は開催できていない	ニーズがあれば前向きに検討していく